

もっと貯まる! 節約ワザ120 / 肌と髪のうるおい 新習慣

日経

WOMAN

[日経ウーマン]

12 December 2015  
No.388  
特別定価590円

特別保存版

お金のマナー便利帖

冠婚葬祭、おわび、手土産 etc. 働く女性の困ったを解決!

脱・お疲れ顔!

肌と髪のうるおい 新習慣

夜の癒やしケア

朝の速攻ケア

賢い女子は  
やっている!

忙しくても無理なく続く

もっと貯まる!

発見!  
貯蓄1000万円  
女子の  
財布のルール

節約ワザ120

年100万円貯めた女子の「お金が増える24時間」に密着  
お金のプロ50人に聞いた「OKな節約」「NGな節約」  
光熱費、食費、服飾費... 効果絶大! 意外なムダ削減テク

働く女性の  
離婚  
リアル事情

interview  
生田斗真  
妹たちへ  
伊藤みどり

Cover model  
Kuroki Haru

モノより経験、  
貯めてます!

# 今、注目の「ミニマリスト」に学ぶ 少ない

他人との比較をやめれば  
少ないモノでも満足できる

12年と13年の2年にわたり、「国民の幸福度ランキング世界一」の国となり、注目を集めるデンマーク。その国民性やライフスタイルをつづった『デンマーク人が世界で一番幸せな10の理由』の著者、マレーヌ・ライダルのルールは、モノではなく「経験」にお金を使うこと。「モノを買うことで喜びは得られるけれど、それは一時的なものでしかない。私の場合は、父を海外旅行へ連れていったり、友人と夕食を食べたり。お金を通じて大切な人と新たな経験を分かち合うことで、幸せを感じられます」

モノを買うことを否定するのではなく、「自分が心地よく過ごすための出費は惜しまない」のもマレーヌさん流。

「自宅は長い時間を過ごす場所なので、気に入ったものだけを置きたい。寝心地のいいベッド、リラクゼーションするためのキャンドルや生花は欠かせません」

愛用品のなかにはシャネルのバッグやデザイナーズ家具といった高級品もあるが、いずれも10年以上使い続けているものばかり。厳選したモノを長く使うことで、日々の満足度は高まる。「ブランド品が悪いのではなく、『みんなが持っているから』『新作じゃなきゃダメだから』と考えるのが問題。他人と自分を比べなければ、モノが少なくても豊かに暮らせるんです」



## 洋服は似合うものだけを厳選

洋服選びの基準は「着心地がよくて、自分に似合うもの」。合わないものは友人に譲る。

## 友人からプレゼントされたお気に入りの財布

エルメスの財布は友人からの誕生日プレゼント。「私の好みを知った上で、贈ってくれたものの。シンプルでデザインがお気に入りです」。



## 10年間、このバッグだけを使っています!

初めてのボーナスで買ったシャネルのバッグ。「バッグはこれだけ。手入れしながら大事に使っています」。



## 自分にとって最も大切な両親の写真を廊下の壁に

廊下の壁には、若い頃の両親の写真をディスプレイ。大切な家族の存在を、いつでも感じられるようにしている。



自宅が一番好きな場所!

## パリの自宅

暖炉横のソファの周りには、アフリカ旅行で買ったマスク、現代美術家・杉本博司さんの写真集など、マレーヌさんのお気に入りのモノばかり置いている。

waza  
18

お金は経験のために使います

DENMARK

文筆家、元ホテルウーマン  
マレーヌ・ライダルさん

デンマーク出身。18歳で渡仏し、19年間パリに暮らす。ハイアットグループのヨーロッパ・アフリカ・中東担当広報部長を務めたのち、現在は文筆家として活動中。8月に初の著書『デンマーク人が世界で一番幸せな10の理由』(サンマーク出版)を上梓。

